

# 〔構造用合板と発泡プラスチック断熱材を用いた耐震改修工法〕 SIR工法の技術講習会を開催します

【本講習会は建築 CPD 3単位です】

耐震性能が不十分な木造住宅は全国にまだ多く存在し、その対策は急務です。一方、住宅の断熱化という面では本格的な断熱改修はなかなか進んでいないという実態もあります。当協会では、外張断熱工法の技術を基に断熱耐震改修工法としてSIR工法を開発し、今般、(一財)日本建築防災協会の技術評価を取得しました。SIR工法では、耐震性能と断熱性能の改善を同時に実現することが可能であり、前述のような状況を改善するに相応しい工法であります。SIR工法を正しくご理解いただき普及を図るため、設計者・施工者の皆様を対象に、以下の要領で技術講習会を開催いたします。どうか皆様、ふるってご参加ください。



## 技術講習会開催要項

日時：2020年2月20日(木) 13:30～16:30 (開場 13:00)

会場：金沢勤労者プラザ 101研修室  
石川県金沢市北安江3-2-20

対象者：設計者 …… 一級建築士、二級建築士、木造建築士の方  
施工者 …… 工務店等に所属される方

建築 CPD 3単位

※本技術講習会は設計者、施工者を対象としていますが、どなたでも参加いただけます

SIR工法で設計、施工を行うには、それぞれ本工法の設計者、施工者として登録されていることが必要です。本技術講習会を修了された方は登録申請をすることができます。  
(その他の要件については講習会にてご説明します)

- 内容：①SIR工法開発の経緯  
②SIR工法の設計方法／施工手順  
③SIR工法の使用申請方法(設計者／施工者登録制度、指定材料等)  
④住宅リフォームローンについて(住宅金融支援機構)

参加費：1,000円(資料代として)

人数：50名(先着順)

主催：一般社団法人 発泡プラスチック建築技術協会

後援：独立行政法人 住宅金融支援機構

公益社団法人 日本建築士会連合会

一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構

一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会

一般社団法人 日本建材・住宅設備産業協会

2020年を見据えた住宅の高断熱化技術開発委員会(HEAT20)

申し込み：弊協会ホームページから <https://www.b-cep.org/>

本講習会は平成30年12月20日国土交通省告示第1381号に示された耐震改修促進の一環として、本耐震改修工法の周知、普及及び技術者養成を図る目的で開催するものです。

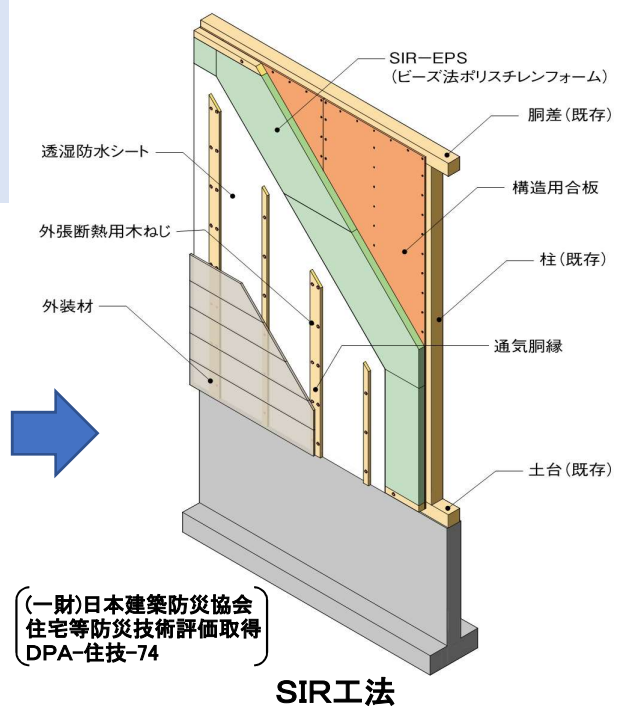
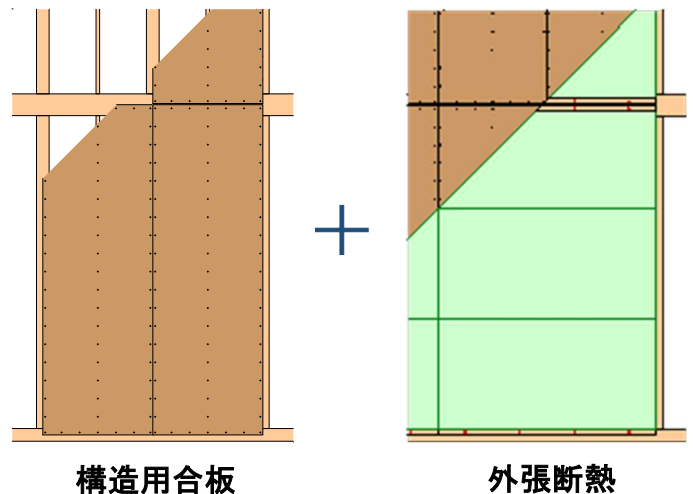
差出人 一般社団法人 発泡プラスチック建築技術協会  
〒167-0051 東京都杉並区荻窪1-37-15  
URL <https://www.b-cep.org/>

# 構造用合板と発泡プラスチック断熱材を用いた耐震改修工法（SIR工法）

▶ **耐震改修** と **断熱改修** を **同時に**

▶ **耐震性能** は構造用合板直張りの約 **1.5倍**

- ▶ 一般的な外張断熱工法に使用される材料と施工方法で改修するため特殊な技術は不要
- ▶ 助成要件を満たすことで、耐震改修助成、断熱改修助成、リフォーム減税の同時需給が可能\* \*個別に確認が必要です
- ▶ 改修後の外壁は防火構造認定の仕様とすることが可能\* \*外装材の選択、既存材料の確認等が必要です



(一財)日本建築防災協会  
住宅等防災技術評価取得  
DPA-住技-74

## 耐震性能

SIR工法の性能値\*

壁基準耐力 $F_w$ (kN/m)	壁基準剛性 $K$ (kN/rad./m)	N値計算用 等価壁倍率
8.0	1,670	6.7

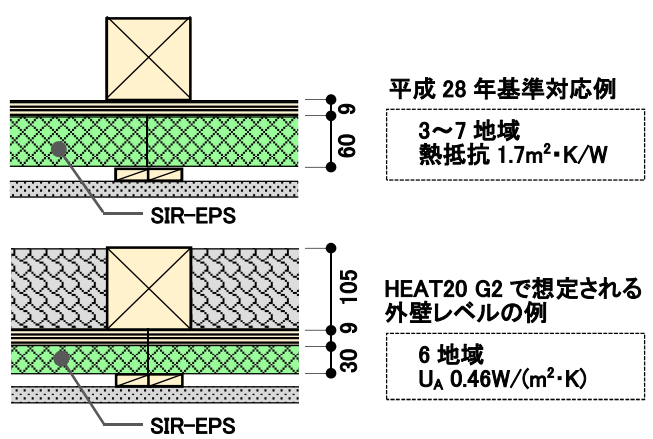
※(一財)日本建築防災協会の住宅等防災技術評価によって評価された性能(DPA-住技-74)

構造用合板直張りの場合

壁基準耐力 (kN/m)	壁基準剛性 (kN/rad./m)
5.2	860

構造用合板による耐震改修の場合と比較すると壁基準耐力は5割程度向上します。

## 断熱性能



通常の外張断熱工法と同じ断熱性能を得ることができます。充てん断熱を併用すれば HEAT20 G2 や ZEH レベルの外壁の断熱性能とすることも可能です。